



# 超我の奉仕

2005～2006年度  
国際ロータリーのテーマ  
超我の奉仕

2005～2006年度  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

# Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日  
会長：守谷 巖樹  
幹事：鈴木 幹雄  
会報委員長：長坂 邦雄  
例会日：毎週木曜日 PM12:30～  
会場：ヒルトン名古屋  
事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3  
ヒルトン名古屋910号  
TEL:052-211-3803  
FAX:052-211-2623  
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp  
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

## ▶ 第1276回例会

## ロータリー親睦活動月間

2006年6月15日(木) 雨 第44回

司会：(佐藤一郎会場委員)  
体操：ストレッチング(梅村昌孝会場委員)  
斉唱：「それでこそロータリー」  
ビジター：名古屋中RC 加瀬 英比古君 他1名  
(内田久利親睦活動副委員長)

### ▶ 副会長挨拶

岩田吉廣副会長

会長に替わってご挨拶申し上げます。今日は6月15日、年度末が近付いてまいりました。会長を始め幹事や各委員会の方々などは非常に真面目に職務を務めておいででした。春の家族会も盛大に催されました。ロータリークラブは、会である以上、費用がかかります。以前、会費を年会費から削減をするなどいたしました。結果的に臨時会費がかさんでやはり費用がかかってしまうことになりました。私は以前に、他のクラブへ所属していたことがありますが、例会の会場や、お昼ご飯を割り弁当にするなどして、会費を安く抑えるようにしておりました。ですが、瑞穂ロータリークラブは都心の1等地に建つホテルで例会を開催しておりますので、当然経費もかかってまいります。私が15周年の折、会計を任されておりました時にクラブで行事を行った際、ビジターの方が多く参加され、会員や家族よりもはるかに多くの費用がかかったことがございます。いずれにしても会員に対する親睦及び会員相互の親睦を重視したクラブ運営を目指してまいりたいと思います。



### ▶ 出席報告

亀井直人出席副委員長

会員75名 出席48名 (出席計算人数55名)

出席率70.91%

6月 8日は補填により 89.09%  
6月 1日は補填により 96.36%  
5月18日は補填により 96.36%

### ▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

- ・第12回理事会において、就業規則改正の件が承認されました。次週例会の前、11時50分から臨時理事会を行います。理事の皆様はご集合下さい。
- ・次週6月22日は第5回クラブフォーラム(年次総会)ですので、各委員長はご欠席の場合、代理をお願いして下さい。

### ▶ ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス副委員長

- ・6月26日は誕生日です。よろしく。 **長坂 邦雄君**
- ・6月27日は私たちの結婚記念日です。 **岩田 吉廣君**
- ・6月5日は家内の誕生日でした。きれいなお花をありがとうございました。 **入江 理君**
- ・家内の誕生日祝い、有難う。 **江口 金満君**
- ・今日は卓話をやらせて頂きます。宜しく願います。 **細川 達也君**

・暑くなりました。細川さんの卓話楽しみにしております。

**内田 久利君**

・2年前の創立記念パーティーの折、松井さん達による空手の形の披露があり、それに触発され練習を始めて2年。この日曜日に松井さんのおかげで初段を取ることが出来ました。

**平野哲始郎君**

・宗宮さんの新しい病院ではお世話になりました。開院おめでとう御座います。

**近藤 洋輔君**

・6月9日、本多さんに大変お世話になりました。 **大島 浩嗣君**

・6月11日の春日井カントリークラブの理事長杯で優勝しました。

**平野 好道君**

・父が亡くなり、6月13日に葬儀を行いました。ロータリーの皆様から弔電、献花、香典をいただき、誠に有難う御座いました。

**田中 英雄君**

### ▶ 臨時例会変更のお知らせ

|        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 名古屋西   | 6/29(木)※ |          |
| 名古屋みなと | 6/30(金)※ |          |
| 名古屋東南  | 6/28(水)  |          |
| 名古屋中   | 6/26(月)  |          |
| 名古屋和合  |          | 7/19(水)  |
| 名古屋名北  | 6/28(水)  |          |
| 名古屋千種  | 6/27(火)  |          |
| 名古屋大須  | 6/29(木)※ |          |
| 名古屋栄   |          | 7/17(月)※ |
| 名古屋名南  |          | 7/18(火)◇ |
| 名古屋名駅  | 6/28(水)  |          |
| 名古屋昭和  | 6/26(月)  | 7/17(月)※ |
| 名古屋錦   | 6/27(火)  |          |
| 名古屋空港  | 6/26(月)  | 7/17(月)※ |
| 豊山一城北  | 6/27(火)  |          |

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。  
◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

### ▶ 例会場移転のお知らせ

稲沢ロータリークラブの例会場が7月第1例会より変更になります。事務局は従来通りです。

平成18年7月1日より  
稲沢市国府宮1丁目1番1号  
尾張大國霊神社(おわりおおくにたまじんじゃ)  
TEL:0587-23-2121  
FAX:0587-23-2122

## ▶ 福岡西RC創立50周年記念式典

去る5月15日に国内友好クラブである、福岡RCの創立50周年記念式典に瑞穂RCより会長はじめ総勢15名で出席し、友好を深めてまいりました。



## ▶ 田中英雄君会葬御礼

6月9日に父が88才で亡くなりました。6月13日に葬儀を行い、その際にロータリーの皆様から弔電等をいただきました。誠に有難う御座いました。

## ▶ ホタル観賞会

6月8日(木)熱田神宮南神池において、本年度ホタル観賞会が雨天にもかかわらず盛大に行われました。傘にとまったホタルが、観賞会前の説明会での特別ゲストとして参加もしてくれました。



熱田神宮のご配慮により、ホタル観賞のため今後6月25日(日)まで南神池付近の照明を暗くして下さるそうです。

## ▶ 卓話

細川達也君

### 「小原村『美しい自然と人柄』」

皆様こんにちは。はじめにどうして小原村に会社を作ったかをご説明申し上げます。昭和55年、当時会社は名古屋市南区丹後通り1丁目にあり、求人をしてしましてもなかなか思うように人が集まりませんでした。その当時親会社である荒子車体の役員の方から、将来は猿投工場が主体となるという話を伺い、名古屋にいたのでは人もこないし、物流も悪いということで、小原村にある廃校となった小学



校を買い取って内部を改装し、昭和56年の3月に引っ越しをして生活を始めました。小原村に工場を造った結果、従業員も順調に集まり、軌道にのって来たことから、平成3年に名古屋にある本社を売却し、小原村に工場を移転しました。

小原村(現・豊田市小原地区)は愛知県の北端に位置し、北は土岐、瑞浪市、東には旭町、南は藤岡町などと隣接し、海拔は平均で約300mになります。中心地である役場付近が約400m、私の工場がある付近は約420mです。北上して県境へ行きますと左側に小原カントリーとトンネルがあり、その辺りが海拔600mほどになります。気候は、年間平均気温が14.1度です。昼夜の寒暖の差があります。夏でも付近のゴルフ場でプレーしますと、名古屋近辺のゴルフ場に比べて気温が4~5度違い、湿度も低いです。冬は氷点下6~8度ぐらいになります。ただ雪はあまり降りません。人口は4,356人です。最近は大博の影響で交通の便が非常によくなり、長久手インターを利用しますと、ヒルトンから小原の私の会社まで50分で到着します。小原村の特徴ですが、四季桜が有名であります。去年の11月には11万人もの人が訪れました。四季桜はバラ科の植物で、江戸時代中期に名古屋方面から苗が持ち込まれ、植えられたそうです。今では県指定の文化財として6,000本ほど植えられています。桜の見所は、街から北側にある川見(せんみ)薬師寺です。さらにもう少し北の前洞には古くから桜があり、大変美しいのでその辺りまで見に行くことをお勧めします。次に芸術・文化のことをご紹介致します。皆様もご存じかと思いますが、小原といえば和紙工芸が有名であります。以前2、3度お越しいただいた山内一生先生も和紙工芸で有名な方です。室町時代に和紙を使って屏風と傘を作っており、大正初期まで続いていたそうです。昭和20年に山内一生先生の師であります碧南出身の藤井達吉先生が小原を訪れ、和紙が良質であることと水がきれいであることに着目し、美術工芸品として今のような絵画の形態になったのだそうです。昭和29年に皇太子殿下御成婚を祝う屏風を製作し贈られ、昭和53年には昭和天皇ご夫妻がご来村し、一生先生が実演して見せたということです。昭和58年には、皇太子ご夫妻が一生先生の工房を訪問されました。現在では和紙工芸家が14~5人いるそうです。次に小原には小原歌舞伎というものがあり、室町中期から始まり、江戸中期に当時そこでの開拓も一段落し、米の生産も軌道に乗ってきて余裕が出来たことから、レクリエーションとしてまず地芝居が発生し、歌舞伎になったそうです。地芝居については、娯楽に乏しい山村地帯の村民の心を慰めると言うことで、年寄りが若手に教えたものだそうです。現在は歌舞伎保存会というものがあり、6月はサツキ公演、11月には文化祭で歌舞伎を行っております。次に観光ですが、まず第一に和紙工芸館が町の中心部にあります。そして歌人の杉田久女さんの碑があります。あと桜で有名な川見薬師寺、通称「だるま寺」として知られる祝峰寺があります。だるまは縁起物ですので、多くの参拝者がだるまを買って行かれます。他にも蚕をお祭りしている「蚕霊神社」があります。小原の著名人というと、先ほども申しましたが和紙工芸家の山内一生先生、歌人の杉田久女さん、元参議院議員の成瀬幡治さん、それから明治大学の総長であった春日井薫さんなどがいらっしゃいました。現在では、東新町のトンカツ屋の石川さん、栄にある杉田眼科の杉田さん、豊田病院の佐々木重夫さん、守山区の矢頭病院の院長さんなどが小原村の出身者です。小原村は、人口が少ない割に優秀な方が多く、著名な方が多いように思います。

最後に、私事で申し訳ございませんが、7月から業務が忙しくなりますので12月までの半年間、休会をさせていただきます。しばらくの間、皆様とお顔を合わせることが出来ませんが何卒宜しくお願い致します。

## ▶ 今週行事 6月22日(木)

第5回CF(年次総会): 12時30分より  
於: ヒルトン名古屋

## ▶ 次週行事 6月29日(木)

下期反省会: 18時より  
於: 松楓閣